

事務事業評価シート

H26(標準事業)

①基本事項	事業コード	事業名	部名	教育委員会事務局
	19289-1	青少年自立支援事業	室名	生涯学習室
	基本施策の大綱	05:次世代を担う人づくりと歴史文化の振興	財	会計 一般会計
	基本施策	01:子どもたちの学びと健全育成	務	款 教育費
	施策の方向	07:青少年の健全育成と青少年活動の促進	科	項 青少年対策費
戦略プロジェクト		目	目 青少年対策費	

②目的・概要	対象	青少年
	目的・概要	青少年の社会的自立の遅れに対する立ち直り支援を実施するため、心理等の資格を持った支援員を配置し、ひきこもりやニート等の悩みを持つ青少年に対する相談や自立に向けた支援活動を行う。

		24年度	25年度	26年度	
③指標	活動	① 名称 グループワーク開催回数	計画値		
		補足 料理教室、社会見学など	実績値	7	7
		単位	回	回	回
	② 名称 センター周知のための広報活動回数	計画値			
		補足 広報やパンフレット等により青少年総合支援センターの認知度を上げる。	実績値	7	10
		単位	回	回	回
成果	① 名称 相談件数	計画値			
		補足 ニートやひきこもりなどの青少年の悩み相談等	実績値	606	531
		単位	件	件	件

年度計画				年度実績							
④事業の計画・実績	<p>青少年総合支援センターへの来所及び電話相談を中心に、ニートやひきこもり等、悩みを持つ青少年やその家族に対して、個別に相談支援を行った。 子ども支援室、適応指導教室等と情報交換など連携を図りながら、切れ目のない相談支援を行った。 また、グループワークを取り入れながら、社会への自立促進を支援するとともに、就労訓練施設との連携して就労支援を行った。</p>				総人件費	①	740				
					人件費	一般職員人件費	②	740	平均給与額×③		
						所要人員	③	0.10			
						臨時職員人件費	④				
						受益者負担額	⑤				
					受益者負担率		0.0%	⑤ / ⑥			
					事業費	計画額	予算額	決算額			
					国庫支出金		4,123	3,807			
					県支出金						
					地方債						
その他											
一般財源		4,123	3,807								
再掲	翌年度への繰越額										
	前年度からの繰越額										
	総人件費	①	740								
	総コスト	⑥	4,547								

⑤事業の評価	【事業の成果】	福祉と教育が連携を取りながら、不登校・引きこもりなどの課題を抱えた0歳～18歳までの支援の必要な子どもとその家族に対して「切れ目のない」をキーワードに、相談だけではなくグループワークや就労につながる支援も行なってきた。これらの取組みは、全国的にも先進的な取組みであると高く評価されており、亀山市独自の施策として位置づけることができる。	総合判定
			A 順調に進んだ

⑤事業の評価	【反省点・課題】	現在、18歳以上の問題を抱えている青少年への支援について、その方向性が明確にされていない。この中で、単に相談業務だけではなく、医療機関や自立支援機関などと相談者とのつながりやその後のケアも含め、実質的に18歳以上の自立支援全般を担っている。また、自立支援のためには、一時的な「居場所」となるデイトレーニングルームといったスペースの設置が必要であり、また、複雑深層化する支援内容に対応するためリーダーを中心としたチームによる支援体制の確立が必要と考える。
	【改善の方向性】	亀山市地域福祉計画の中に18歳以上の支援について位置付ける必要性があると考えており、市地域福祉計画の改訂時には当室とも協議するよう福祉部局に申し入れている。その協議の中で、福祉部局での一元化も視野に入れて青少年総合支援センターにおける支援業務のあり方について検討していく。

事業目的の妥当性: 適切	有効性: 適切	最終評価確認者: 生涯学習室長 亀山 隆
--------------	---------	----------------------